

光学顕微鏡 (OM)

光学顕微鏡は、光の透過率だけでなく屈折率や偏光性などを利用するタイプもあり、電子顕微鏡では得られない情報も得ることができる。



1 金属顕微鏡

金属顕微鏡は、試料の透過光を観察するのではなく、対物レンズ側から落射光を試料に当て反射光を観察する顕微鏡である。金属組織などの観察によく利用される。

2 偏光顕微鏡

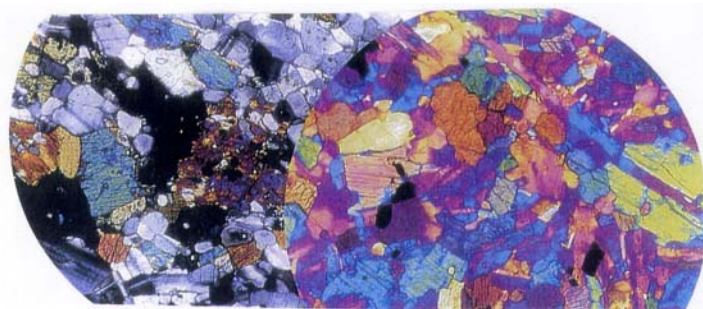
物体は内部構造や結晶構造によって、光の振動方向を変える偏光性を有する。この偏光性を観察するタイプの顕微鏡が偏光顕微鏡である。

試料の偏光性や複屈折性が明暗や色の違いとして観察でき、岩石などの結晶や、生物試料の観察に利用される。

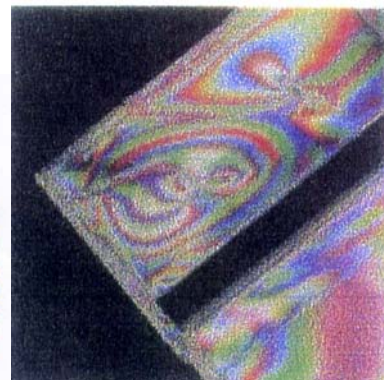
3 位相差顕微鏡

屈折率が大きな媒質中を通る光は、屈折率が小さい媒質中を通る光よりもその位相が遅れる。この位相差に関わる回折光を利用する顕微鏡である。

生物試料など、無色透明であるが屈折率が異なる部分から構成される試料の観察に利用される。



岩石の写真



樹脂の流動

測定費用、測定所要時間

測定費用 : 1 試料 3,000 円～

試料処理が必要な場合は要相談

結果の引渡し : 概ね 1 週間後